

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書

様式1

No. 09010030

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・事業期間 平成21年度～ ・事業内容 雄武ダムの維持管理費
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 土地基盤の充実	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	基幹水利施設管理事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	雄武ダムの維持管理		#N/A	
事業目標	適切な維持	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	有 雄武ダム管理条例	
住民協働		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容		
計 画 内 容	平成21年度から供用開始している雄武ダムについて、施設の点検整備、管理を適正に行う。	・点検整備費 ・施設管理費 ・施設費 ・調査費 ・諸油脂費 ・電力料  補助対象事業費 20,717千円 (補助率60%)	・点検整備費 ・施設管理費 ・施設費 ・調査費 ・諸油脂費 ・電力料  補助対象事業費 25,776千円	・点検整備費 ・施設管理費 ・施設費 ・調査費 ・諸油脂費 ・電力料 ・修繕費  補助対象事業費 29,405千円	・点検整備費 ・施設管理費 ・施設費 ・調査費 ・諸油脂費 ・電力料 ・修繕費  補助対象事業費 38,208千円	・点検整備費 ・施設管理費 ・施設費 ・調査費 ・諸油脂費 ・電力料 ・修繕費  補助対象事業費 24,808千円		
	計 画 事 業 費	事業費(千円)	146,674	23,109	26,793	30,461	40,208	26,103
実 績 事 業 費	特定財源の名称 基幹水利施設管理事業 補助金 基幹水利施設管理事業債  【評価・実績】	国庫支出金	0					
		道支出金	83,360	12,430	15,478	17,643	22,924	14,885
		地方債	61,300	10,500	11,100	12,300	16,700	10,700
		その他	602	118	118	118	130	118
		一般財源	1,412	61	97	400	454	400
事業費(千円)	80,163	23,574	28,135	28,454	0	0		
実 績 事 業 費	(実施内容等) 点検整備  ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	国庫支出金	0					
		道支出金	43,395	12,642	15,466	15,287		
		地方債	34,200	10,800	11,100	12,300		
		その他	393	126	133	134		
		一般財源	2,175	6	1,436	733		
前 期 計 画 へ の 継 続	(継続有り) 第6期計画への継続 (継続有り)	年度目標値	適切な維持	適切な維持	適切な維持	適切な維持	適切な維持	
		年度達成率		102%	105%	93%	0%	0%
		全体達成率		16%	35%	55%	55%	55%
		備考欄						

事業名	基幹水利施設管理事業	評価者	管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者	作成者 職氏名	農地整備係長	苫米地 幸二

様式1  
平成27年度実施  
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	用水受益者、ダム施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	各種設備点検委託 ・維持管理調査	
【抱える課題やニーズは】	各種機器及び整備等の維持管理費並びに更新費	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	各種機器の点検等適正な維持管理を行い、不良箇所早期発見や施設全体の長寿命化を図ることにより、受益者へ適正な用水供給を行う。	① ・各種設備点検委託業務実施:9件 ・維持管理、調査業務実施:5件	目標年度	平成27年度
			目標値	14件
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	かんがい用水の合理的な利用を促し、農業生産性の向上と農業経営の安定を図る	② ・改修又は更新の実施 計画件数:2件 実施件数:2件	実績値	14件
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	点検整備	取水放流設備、電気設備、制御施設、観測設備、無線設備、繫船設備等の点検業務を委託して実施した。		
	施設維持管理、調査	管理用道路の草刈、除雪業務、貯水池内地堆砂量測量業務、堤体表面変位測量業務等を委託して実施した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	受益者(使用者)への用水供給を適正に行うために必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	各種設備の点検や適正な施設の維持管理が行われており、正常な機能を維持していることから、用水供給が適正に行われている。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	点検調査等の実施により、不良箇所の早期発見及び機器更新の延伸は事業費の抑制に繋がるものであり、効率的と判断する。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	受益者(使用者)にあつては、使用料の負担があり、公平と判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
用水の供給にあつては、適正に行われており、今後も設備の正常機能を維持するために計画どおり進める必要がある。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
かんがい用水の供給は今後も必要であり、施設の正常機能を維持するため、継続して進める必要がある。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止